

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	体育指導委員活動事業	会計	一般会計	事業No.	735	施策順No.	26-009
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-6-1-10-1		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	26 スポーツの振興			事業期間	開始	S36	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		住民基本台帳人口:人	107938	106630	105691	105036	107000	
		体育指導委員数:人	34	34	34	34	34	
	意図	体育指導委員の活動を通じて、市民スポーツの振興を図る。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%	35.7	38.5	37.8	40	34.7	45	B
	体育指導委員の企画運営した大会数:大会数	1	1	1	2	2	2	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		体育指導委員がニュースポーツフェスティバルを2回企画運営するとともに、定例会・委員会を行い、市民スポーツ振興を図っており、成果を上げている。事業全体を評価する中で、上記の目標達成度とした。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育指導委員(定員34名)を任命し、市民スポーツの振興を図る。</li> <li>・体育指導委員協議会を開催し、市民スポーツ振興策を協議する。必要に応じ組織内に委員会等を設置し事業展開を行なう。</li> <li>・体育指導委員間の連絡調整を行ない、市内の均衡したスポーツ施策を推進する。</li> <li>・市民の運動実施率を高めるため、ニュースポーツ等の普及活動を行うとともにニュースポーツ大会(ニュースポーツフェスティバル)を企画開催する。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの創設に向けた調整を行なう。</li> <li>・各種研修会の開催参加により、体育指導委員の資質向上を図る。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 体育指導委員協議会定例会の開催 2 体育指導委員協議会各委員会の開催 3 体育事業研修会・大会参加	1 定例会開催数:回 2 委員会開催数:回 3 各種大会研修会:回	1 12回 2 29回 3 12回
23年度実施計画	1 体育指導委員協議会定例会の開催 2 体育指導委員協議会各委員会の開催 3 体育事業研修会・大会参加	1 定例会開催数:回 2 委員会開催数:回 3 各種大会研修会:回	1 12回 2 30回 3 10回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		1,367	935	1,367		
計(A)		1,367	935	1,367		
正規職員所要時間			150			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			536			
トータルコスト A+B			1,471			

4 事業に対する市民や議会の意見

・基本構想基本計画推進委員会から、スポーツの振興にとって指導委員の重要性を認める。今後このような体制が繋がっていくことを希望するとの提言があった。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ	施策の成果指標又はムトス指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:% スポーツ事業への派遣回数(ムトス指標):回
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	体育指導委員による指導・普及・育成活動を通じて、市民がスポーツに親しめる環境づくりを進めた。		
	後期に向けた課題	体育指導委員の資質向上を図り、全市レベル、地区レベルでの軽スポーツの振興や、スポーツサークルの育成等を進める。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	月1回の定例協議会の実施および各委員会開催支援と、事業実施への支援。		
	後期に向けた課題	主催事業の推進や地域のスポーツ活動の情報収集の充実		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	現状では、これ以上のコスト削減は難しい。		
	後期に向けた課題	同上		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	スポーツ振興法および国のスポーツ振興基本計画に基づいた事業であり、市の関与は適切。		
	後期に向けた課題	同上		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	体育指導委員は、主催事業の企画実施を通して、地域のスポーツ活動の資質向上を推進するとともに、指導者としてスポーツ振興の重要な役割を果たしている。市が主催する事業へも積極的に協力していただいている。		
	後期に向けた課題	地区公民館の体育事業や重点取り組み事業の設定などにむけ、情報提供。情報交換の充実を図る必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地域のスポーツ振興の中心となり、多世代に向けた指導者として活動を行っている。ニュースポーツの実技指導をはじめ、スポーツ人材の育成を行っているとともに、地域と行政をつなぐパイプ役として活動していただけるよう、支援をおこなってきている。		
	後期に向けた課題	ウォーキングやニュースポーツなど、共通の重点取り組みを設定し、事業の推進を行う。 地区公民館の体育事業との連携を強化していく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--